

とまで。T東日本が過半を出資

べきか。し、連結子会社とする。NT

状態が統 T東日本とバイオマス

田江美) リサーチは2019年12

月に業務提携している。

月1日に ビオストックはバイオ

マストリサーチが設計した

小規模バイオガスプラント

トを原則として導入費用

なしの月額制で提供す

る。プラントはNT東

日本のICT（情報通信

技術）で遠隔制御する。

農家の負 人手の作業や事業者

に 委託する場合に比べ、ふ

ん尿処理のコストを2〜

5割ほど減らせる見通し

という。農家の数が減る

一方で1戸で飼う家畜は

増えており、作業の効率

化が求められている。

リサー プラントを動かして発

生する消化液は肥料にし

て、メタンガスや余った

熱を地域の園芸農業や工

場で使うことを想定して

いる。NT東日本は19

年にIoTを活用した施

設園芸を手掛けるNT

アグリテックノロジー（東

京・新宿）を設立してお

り、エネルギー活用など

での連携も見据える。

ビオストックの社長に

就くNT東日本ビジネス

開発本部の熊谷智孝氏

は記者会見で「日本各地

にエコシステムを広げて

いきたい」と話した。自

治体や農協とも連携し、

21年度までに5プラント

の展開を目指す。将来は

ふん尿処理のほか家畜の

健康管理などにもIoT

を活用して、畜産酪農の

関連事業に幅広く取り組

んでいく方針だ。

（藤井太郎）

開へ対策公開

（R）の新型コロナウイルスの感染防止対策を報道陣に公開した。人気のキャラクターは来場者から離れて手を振るなど「3密」の回避を徹底する。

入場ゲート前では1人ずつ検温し、37.5度以上の発熱などが確認されれば入場を断る。入場ゲート前や園内の至る所には「ソーシャルディスタンス（社会的距離）」確保を促す印を貼った。従業員も看板などを払い、間隔をあけて並ぶように来場者に呼びかける。普段はパレードを実施す

入場時検温 ■ 座席に間隔

入場ゲート前では1人ずつ検温し、37.5度以上の発熱などが確認されれば入場を断る。入場ゲート前や園内の至る所には「ソーシャルディスタンス（社会的距離）」確保を促す印を貼った。従業員も看板などを払い、間隔をあけて並ぶように来場者に呼びかける。普段はパレードを実施す

2020.6.30 日経産業新聞
3面(総合)

2015/3 16/3 17/3 18/3 19/3 20/3
れている。企業数は、この間に83万社減少すると見られる。世界の国内総生産（GDP）に占めるシェアも低下し、日本での事業だけでは先行きが暗い。勝ち残るには働く人や買手人を海外に求めないといけない。ユニクロが代表例だが、アジアで売って売って来た時代が来るとは思えない。買収後の100日プランを執行しつつ、最終的に3年後の企画や開発に特化するようになるだろう。

「中堅・中小企業がアジア企業を買収したり、反対にアジアの会社が日本企業を傘下に収めたりする事例が増える。製造や飲食、サービス、教育業界でいろいろな動きが起きてくるはずだ。この流れは20年後をめどに強まる。国内M&Aは今後30年、増える。4.6万社も減ることも減る。M&Aを手掛ける（聞き手は原欣宏）

国土強靱化

強くしなやかな国民生活の実現に貢献

いかなる自然災害が起こっても人命を守り、経済社会への被害が致命的なものにならず迅速に回復する「強さとしなやかさ」を備えた国土、経済社会システムを普段から構築するという発想に基づき継続的に取り組むことが重要。
国土強靱化で重要な役割を担う工法の情報を厳選して紹介します。また、同様の特集が6ページからも掲載されております。ぜひそちらもご覧下さい。

全面緑化できる 吹付のり砕工

GTフレーム工法

国土交通省 NETIS 「平成30年度 推奨技術」

周辺環境との調和が求められる現場で 有効なり面保護工です

GTフレーム工法は、盛土の補強土工などで一般に使用されるジオグリッドや改良土（短繊維混合補強砂）をのり砕材として用いた新しい吹付のり砕工法です。新発想の柔構造のり砕により、ねばり強くなり、斜面を守るとともに、全面緑化することができるので緑豊かな景観づくりを実現します。

累計施工実績 112万㎡以上

急傾斜地対策工事や災害復旧工事など、さまざまなり面で活用が広がっています

詳しくは、公式サイトで技術資料、図面等がダウンロードできます

補強土植生のり砕工協会 <http://www.gt-frame.com>

不安定な傾斜も強固に補強!!

フリーフレーム工法

地山の形状に合わせて自在に変形できる金網型砕!!

フリーフレーム工法


自然環境と調和する のり面の保護・補強・緑化に向けて

フリーフレーム工法は昭和50年の発明以来、画期的なり面保護工法として幅広く適用され、各地の震災や大雨などによる災害にも耐え抜いてきた。フリーフレーム工法は、地山に合わせて自在に変形できる金網型砕を用い、モルタル吹付けによってのり砕を構築し、切土のり面・自然斜面などに連続した砕を作る工法で、斜面の安定を図ると共に緑化などを施工することによって、自然環境との調和を大切にしたい工法である。型砕は変型自由でリサイクルしやすい軽量のメッキ素材。耐久性も高く施工性にも優れており、地山状況に応じて砕断面やスパンを自由に選択可能。型砕は埋め殺しのため、解体作業が不要で作業能率アップに繋がる。また、地山に直接モルタルやコンクリートを吹付けするため、地山と砕が一体となり、十分な強度が得られ、洗掘作用を受けにくく、全ての砕が連結しているため、地山の崩落に対する抵抗力が増大する。

フリーフレーム協会 <http://www.freeframe.gr.jp>

シームレスで強靱な 防水塗膜を形成する工法

コンクリート構造物等の保護や防水に効果的!!



均一化かつ高品質な防水塗膜物性を実現

SQS工法は超速硬化ポリウレタン・ポリウレタ樹脂吹付塗膜材料をコンクリート構造物等の表面に塗布することにより、水分、塩分、炭酸ガス等のコンクリート劣化因子を遮断する表面被覆材。優れた伸び率と強度により下地の亀裂に対して追随性の高い材料なので、新設及び既設の幅広い構造物に適用されている。

SQS防水材は、2液混合型スプレーシステムによって施工され、吹付塗布後、数十秒で成膜する。平面以外の立面、天井面など複雑な部位も施工可能で、大幅な工事の合理化と工期の短縮が可能となる。水密性試験によれば、通常の条件下で水深100m相当、碎石転圧後の条件下で水深50m相当の耐水圧性能を持ち、十分な強度、伸び、接着性、亀裂抵抗性を有している。また十分な耐候性、耐薬品性、耐熱性、耐低温性および耐海水性が認められており、有害物質の溶出がなく安全性も高い。同工法は、土木研究センターの建設技術審査証明や沿岸技術センターの評価証を取得している。

SQS工法協会 <https://sqs-me.com>
E-mail: info@sqs-me.com TEL: 03-6811-0980